

(一社)日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会(共催：物理 探査学会)

令和四年度研究発表会（Web 開催） 優秀発表者の決定のお知らせ

厳正な選考の結果、12/7(水)に開催しました標記研究発表会の優秀発表者が決定いたしましたので、下記のとおり報告します。後日、優秀発表者に賞状および副賞を授与いたします。

■優秀発表者

発表者：○新妻重明（株式会社開発工営社）、伊東佳彦（北電総合設計株式会社）、
田近 淳（株式会社ドーコン）、戸田英明（株式会社ドーコン）

題 名：1741年寛保津波の災害伝承碑－北前船が運んだ石材－

選定理由：本発表は、現在、北海道自然災害史研究WGで取り組んでいるうちの、道南班での成果になります。道南の災害碑の中で、もっとも件数が多い1741年寛保津波のイベントに焦点を当て、当時の様子を描いた絵図や露頭観察も示しながら、わかりやすくまとめられました。古文書の記述を科学的根拠と照らし合わせながら、災害碑の場も論じております。加えて、石材の由来についても北前船に行きつき、岡山県産、兵庫県産、広島県産など生産地を推定している点は、応用地質学会らしい視点です。今後、研究成果を普及する際には、災害碑建立までにかかわる「物語」を必要とします。災害碑を起点に、過去の津波災害を教訓とする話、また石材から北前船による交易の話など、理科教育と社会科教育を融合した視座を提供している本発表は、今後の災害碑研究のあり方を考える上でも重要と考えられます。

以上を総合し、選考させていただきました。